

社会福祉士の日

一人暮らしの高齢者や、障害を抱えている人、子育てに悩んでいる親や、不登校やいじめにあって子どもまで、様々な人の相談支援等を行い、サポートをされるお仕事です。

社会福祉士の活躍の場

地域包括支援センター

高齢者が、住み慣れた場所で生活していけるように支援する機関。

社会福祉協議会

地域住民の生活に関する相談援助や福祉サービスの提供等を行う民間組織。

行政機関

福祉事務所や市区町村役場、児童相談所、刑務所等での相談支援など。

病院(医療機関)

医療費の支払いや、退院後の生活についてなどの相談支援など。

学校

いじめや不登校などの問題について、子どもやその家族の相談援助など。

障害者施設・事業所

施設を出たあとに、地域で生活が送れるように支援したりなど。

などなど♪

『社会福祉士の日』

編著：WILLIこども知育研究所 出版：保育社

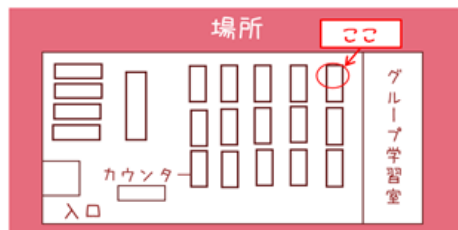
場所：Y369/ウ(ティーンズ進路支援コーナー)

ティーンズ応援ミニブック

Bookworm

2022. 春号

ティーンズコーナー



発行 四万十市立図書館 (7月・12月・3月頃)
 休館日 館内整理日(毎月最終金曜日)
 ・年末年始・蔵書点検期間
 開館時間 午前9時～午後7時まで
 住所 四万十市中村大橋通4丁目10
 電話 0880-35-2923

ティーンズ座談会

このコーナーでは、高校1年生の仲良し4人組の会話を通して、様々なジャンルの本の紹介をしていきます。

ソウタ ホノカ コウ チカ

ソウタ、今日配られた遠足の感想文、一緒にやらない?

ホノカ…助かるよ…。

え～! ソウタだけずるい! 私も一緒にやる～♪

俺も。どーせソウタ1人だと、書くこと見つけれず、いつまで経っても進まねーのが目に見えてるし(笑)

うるさいな…書くことを見つけるのって難しいんだよ。

起きた出来事を順番に振り返ってあげば大丈夫よ♪ まずは、遠足の行きが出来事からね。

……ずっと怪談話してたことしか覚えてない。

え～! その中でも色々あったじゃん!

色々……あったっけ…?

ほら! コウが急に大声だして、驚いたホノカが転びそうになったりとか♪

ちょ?! 恥ずかしかったんだから言わないでよ…! もう…ほんとにビックリしたんだからね、コウ!!

いや～、悪かったって。ビクビクしてるホノカが面白くてさー、つい(笑)

…ソウタ、道中お菓子をつまみ食いして先生に怒られたコウの話を書きましょう。

あはは、そんなこともあったね～(笑)

“そんなこともあったね～(笑)”じゃねーよ! お前も一緒に食ってたくせに、知らん顔して見捨てやがって!!!

いやー…先生めっちゃ怖くて…つい(笑)

ふふ、他にも色々あったわよね♪アレとか、コレとか～、ソレ♪

あー、確かに。うん、みんなと話してたら色々思い出してきたかも。

お! じゃあもう平気そうか? お前って書くことが見つかりさえすれば、文章にするのは得意だもんな。

ソウタは本を読むから、文章力は身につけてるのね、きっと。

文章については、自分がどう感じたか、周りの様子はどうだったかを具体的に書いていけば、ある程度は埋まるからね。

問題は、書くこと自体を見つけれないというか、忘れてるというか、そういうところだよな～。

あ! なら日記をつけるのはどう? 毎日書くことを探さくせを身につけて、1人でも書けるように練習するの♪

え…毎日日記に書くほどのことなんて起こらないよ…。

起きた日常の中から探すのよ。今日だったら“感想文をみんなで書いた”ってことを書けばいいんじゃない?

……そういう感じでいいの?

そういう感じでいいんだよ(笑)むしろ、そういうことを見つけていくのが大事なんだから、お前の場合。

『めんどくさがりなきみのための文章教室』

著: はやみね かおる 出版: 飛鳥新社 場所: Y816/ハ(ティーンズコーナー)

ぶつくまにあの本棚

このコーナーでは、ティーンズへのオススメ本を紹介していきます。
テーマを決めて、そのテーマに沿った本と、オススメ紹介ボードから選んだ
みんなのオススメ本を紹介するよ。

2022年春号テーマ 『図書室・図書館』

生徒と本 図書室の先生

場所：Y017/ナ
ティーンズコーナー



『高校図書館デイズ
生徒と司書の本をめぐる語らい』

著：成田 康子 出版：筑摩書房

北海道・札幌南高校の図書館。この本は、その図書館を訪れた13人の生徒の本にまつわる想いや体験を、司書の先生がまとめた一冊です。
本を借りるのが怖い生徒や、ピブリオバトルに参加する事になった生徒、太宰治の小説について考える生徒など、さまざまな生徒と本とのつながりを描いたお話です。

図書室での 物語

場所：Y913/サク
ティーンズコーナー



『図書室の神様たち』

著：櫻 いいよ 出版：小学館

家に帰るのが嫌で、本を探して放課後の図書室に足を踏み入れた爽風-さやか-は、そこで不思議な雰囲気を持つ男子生徒、誠-まこと-と出会う。
周りの空気を一掃するような曇りのない笑顔を浮かべる彼の口元には、あおあざ青痣。
それを見た爽風は、誠とあまり親しくならないようにしようと思いつつも、気が付けばまた図書室へと足を運んでいて…。
時間が交錯する不思議な図書室で繋がった2人の純愛ストーリー。

図書館という 居場所

場所：Y913/サク
ティーンズコーナー



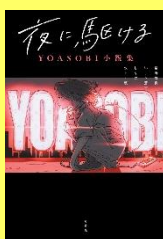
『虹いろ図書館のへびおとこ』

著：櫻井 とりお 出版：河出書房新社

転校先の学校でいじめられるようになってしまったほのかは、ある日ついに我慢の限界がきて、学校へと向かっていた足が止まってしまう。
家に帰ることもできず、知らない町を彷徨い続けていたほのかがたどり着いたのは、いじめられる前に“へびおとこ”を見に訪れたことのある、おんぼろ図書館だった。
そこで働く“へびおとこ”ことイヌガミさんや、口の悪い謎の少年、そしてたくさんの本との出会いにより、ほのかの世界が少しずつ動き出していく。

オススメ本 紹介ボードより

場所：Y913/札
ティーンズ展示コーナー



『夜に駆ける YOASOBI 小説集』

著：星野 舞夜 著：いしき 蒼太 著：しなの
著：水上 下波 出版社：双葉社

「さよなら」たった4文字の彼女からのLINE。それが何を意味しているのか、僕にはすぐに分かった。死神さんが呼んでいると言う彼女の顔は、恋をする女の子のようで、僕は彼女のその表情が嫌いだった…。

「小説を音楽にするユニット」YOASOBIの恋愛ソングの原作小説集。

【夜に駆ける】 【あのをなぞって】 【たぶん】 【未発表曲】※発行当時